

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371000973
事業所名	グループホーム フレンズハウス草平

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目: 2)	評価
	朝と午後の散歩時に笑顔で挨拶を交わしたり、町内の祭りや敬老会等に参加して顔を覚えてもらっている。野菜のお裾分けがあったり、近所の子ども達がホームの玄関先で遊ぶこともあり、当たり前の間柄を実感できる。秋祭りの案内をしたり、中学生の福祉体験学習の受け入れ予定があり、地域への貢献も増やしていきたいと取り組んでいる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目: 3)	評価
	会議は概ね2カ月に1回開催している。参加は地域代表の民生福祉会長(町内会長)、知見者は訪問マッサージの先生や他の事業所ホーム長、入居者、家族会の一員、ホーム長、職員である。地域包括センターの職員参加が次回予定されている。サービス向上を目差してホームの状況や行事報告、参加者から意見や地域情報を頂いている。(11月に開催される会議には地域包括支援センター職員の参加が予定されているので、来年度確認する)	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目: 4)	評価
	担当窓口へ書類提出や情報収集に出かけホームの実情を積極的に伝えている。区役所主催の作品展には入居者が趣味の写真を作品として出展、入居者皆で見学に出かけた事もある。協力関係を築く機会と捉え同業者と同行して市窓口へ出かけ挨拶をしたり少しの時間でも大切に取り組んでいる。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目: 6)	評価
	玄関に意見箱を設置しており、体験学習の生徒から意見が入る事がある。本人や家族からは直接要望や意見を頂いている。「自分の作品を皆に見て欲しい」との要望に職員間で話し合い、法人の協力を得てデイサービスで作品の展示が実現している。運営推進会議や家族アンケートの意見を真摯に受け止め、改善の取組が見られた。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×					

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。